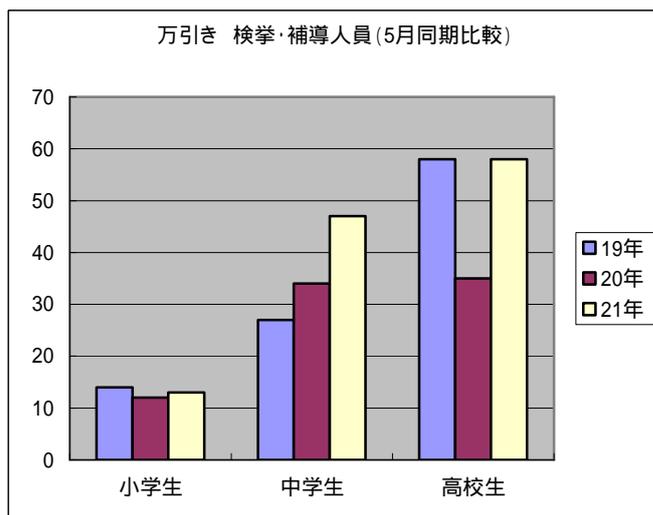
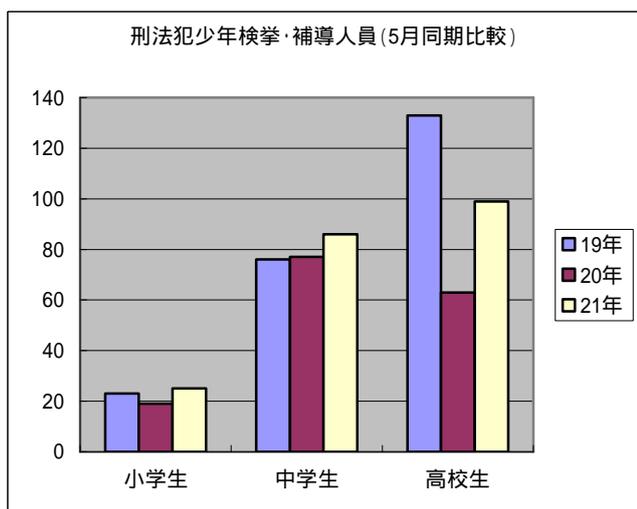


保護者や地域と連携した非行防止を

岩手県警察本部少年課の資料によると、平成 21 年 5 月時点の刑法犯少年の検挙・補導人員数は、年々同期に比べると増加の傾向にあります。その中でも、万引きについては、小学生、中学生、高校生ともに増加しています。

万引きや自転車盗・占有離脱物横領などの「初発型非行」は、単純な動機から安易に行われ、本格的な非行の入口となりやすい非行です。学校だけではなく、家庭や地域社会が共通認識を持ちながら、防止のための取り組みを進めていくことが必要です。



文部科学省HP内の、以下の資料の中に具体的実践事例が掲載されています。御活用ください。

「非行防止教室等プログラム事例集」(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mondai04.htm)、

「児童生徒の規範意識を育むための教師用指導資料」(非行防止教室を中心とした取組)
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/05/06052417/001.htm)

保護者や地域との連携強化について

県内各地域に、少年警察ボランティア協会(旧名称:少年補導員協会)や防犯協会があります。

学校で行う防犯教室に、保護者や地区の少年警察ボランティア協会員、防犯協会員等を参加させ、子供たちとともに非行防止や防犯について学び、考え、地域ぐるみで共通認識をもって安全な環境作りを進めるなど、地域と学校とがうまく連携しているところもあります。地域の子供は地域で守り育てるという考え方が大事だと思いますので、学校は、地域の人的資源をもっと広く活用してほしいと考えております。

警察が派遣できる防犯教室の講師には、警察本部の少年巡回指導員、サイバー犯罪対策室員、警察署の生活安全課員、地元の交番、駐在所員等がありますので、署の生活安全課と相談のうえ講師の選定をお願いします。

子供たちが夏休みに入るこの時期、学校、警察、地域社会の連携を強化して子供たちを非行等から守りましょう。

(岩手県警察本部少年課少年サポートセンター所長 野田 静一)

不適応対策に係る情報を発信していきます。不適応対策指導の参考に活用していただければ幸いです。
岩手県教育委員会事務局学校教育室生徒指導担当 (019-629-6145)
<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=1813&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1813>